

# うめかおる 御幸公園梅香事業について

幸区の北側に位置する小向一带は、明治時代に梅の名所として有名になり、観梅のため明治天皇が行幸（御幸）された歴史があります。「御幸」や「幸区」の名称は、このことに由来しています。



幸区役所では、魅力ある地域資源の一つである御幸公園において、地域の歴史を継承し、梅林の整備により梅の名所としての復活を目指すとともに、区制50周年や市制100周年にむけて区民との協働により地域の魅力向上を図る取組を「御幸公園梅香（うめかおる）事業」として進めています。

## 繋ぐ ～御幸公園と三溪園（横浜市）～

現在の御幸公園がある小向地区には、かつて30haを超える梅林が存在していましたが、洪水や老木化などによる梅林の衰退により、約700本の梅の木が明治後期に横浜の三溪園へ移植されたと言われています。



### 園指定名勝 三溪園

開園時間  
9時～17時（入園は16時30分まで）  
住所  
横浜市中区本牧三之谷58番1号  
問合せ  
045-621-0634  
利用料金  
大人（高校生以上）700円  
子ども（小・中学生）200円  
\*障がい者手帳をご提示の方は本人と介護者1名まで無料

区では梅林の復活にあたり、三溪園の接ぎ穂を接ぎ木し生育するなど、時代を超えて三溪園と御幸公園を繋ぎ、歴史・文化の交流を図っています。

## 梅林の復活

梅香事業の取組の一環として、植樹や接ぎ木を行っています。



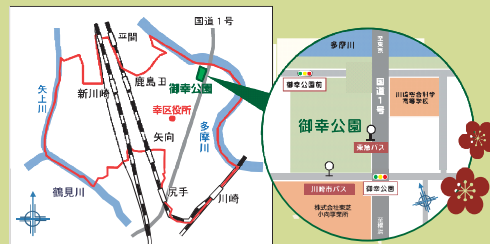
接ぎ木とは、二つ以上の植物を合着させ一つの植物にするもので、遺伝子的には接ぎ穂（枝）と同一の性質となるものです。三溪園からいただいた梅の枝を苗木に接ぎ、御幸公園での成長を試み、梅林の復活に挑戦しています。

また、毎年10本程の梅の木を植樹しています。

## 会場アクセス

会場：御幸公園  
川崎市幸区東古市場1

- JR川崎駅「川崎駅ラゾーナ広場」から、市営バス「川73系統」もしくは「川74系統」の「上平園」行き、または東急バス「反01系統」の「五反田駅」行きに乗り、「御幸公園前」バス停で下車してください。
- 武蔵小杉駅から、「川74系統」の「川崎駅ラゾーナ広場」行きに乗り、「御幸公園前」バス停で下車してください。



※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

令和3年度 御幸公園

# 観梅会

令和4年  
2月19日（土）  
～2月27日（日）

期間中は梅林内を開放し、梅を間近で鑑賞いただくことができます。（9時～17時）  
（昨年も開放し、参加された方から大変ご好評いただきました！）

御幸公園には大小さまざまな梅が25種223本！  
品種が多いので、いろいろな梅の花が楽しめます。  
梅を観ながら楽しめるイベントもご用意しています。

コロナ禍でも変わらず咲き誇る梅の共演をご覧ください。

主催：御幸公園梅香事業推進会議、幸区役所  
問い合わせ：幸区役所企画課  
TEL：044-556-6612

デザイン：川崎総合科学高等学校 デザイン科 山下 愛